

2015年度英国リーズ大学 短期英語研修の様子



目次

- (1)初めに
- (2)参加して良かった点
- (3)研修全体の流れ
- (4)現地での生活
 - 授業、ホームステイ、週末
- (5)最後に

(1)初めに

このプログラムに応募しようか迷っている学生の皆さんへ

私たちの短期英語研修がどのようなものだったかを簡単に紹介し、今後研修する学生の皆さんの参考になれば幸いだ。

(2)参加して良かった点

- ①自主性・積極性が高まったこと。
- ②英語の能力が向上したこと。
- ③適応・対応能力が向上したこと。
- ④様々な価値観、物の見方を知れたこと。

- ①準備でも現地での生活でも自分ですることが大変多かった。何事も自分から積極的に行動し有意義なものにできた。
- ②約1ヶ月間、毎日、日常生活でも授業でも、英語を常に使用した。
- ③現地の環境、食べ物、雰囲気に対応し、何か問題が起きても冷静に対応することが求められた。
- ④ホームステイ先やクラスで様々な国の人と接し、コミュニケーションをとることで新しい価値観や、ものの見方をしることができた。

(3)研修全体の流れ

私たちのおおよその研修の流れを示す。

4月下旬	説明会、応募。
5月下旬	面接、TOEIC、成績により選出(私たちの場合3人)。 第一回ミーティングにて申請書類を頂いた。
6月～7月	その後、複数回ミーティング。様々な書類を書いたり、ホームステイ先にメールを送ったり、先輩からお話を聞いたりした。
7月下旬	最終ミーティング。
8月上旬	出発。
9月上旬	帰国。

・説明会には必ず参加するべきである。その参加やプログラムへの応募は2回生からでもできるので積極的にチャレンジするべきだ。

・面接では、英語と日本語の両方で質問された。プログラムに参加する明確な目的と、今後それがどのように活かされるのか言え、自分の行きたいという強い思いを伝えられるようにしておくと思う。

・準備期間は非常に大切であり、いくら念入りに準備してもし過ぎることはない。ただ、思った以上に時間がなく、英語の勉強が十分にできなかった。

(4)現地での生活

現地での生活を授業、ホームステイ、週末の3つに分けて紹介する。

授業

・初日にガイダンスとクラス分けテストがあった。午前はテストによるレベル別のクラスで座学が中心、午後は様々なレベルの生徒が混ぜられ映画を作ったり、博物館の見学したりした。1コマ90分で、午前には2コマ、午後に1コマあった。

・週ごとにテーマが変わり、そのテーマに沿って授業が行われた。午前の授業では、金曜日に、その週やってきたことの筆記テストを受けた。授業ではディスカッションやプレゼンなどをした。ディスカッションでは、話し出したら止められない生徒もいて、それに圧倒されないようにより積極的に参加した。

Weekly Topics

Week 6 10 th - 14 th August	Media	The Leeds Project
Week 7 17 th - 21 st August	Culture and Customs	What it means to be?
Week 8 24 th - 28 th August	Stories	Mini Movie Project
Week 9 (uni closed Mon/Tue) 31 st August - 4 th September	Education	Mini Movie Project
Week 10 7 th - 11 th September	Entertainment	Mini Movie Project



クラス写真

ホームステイ

- ・この研修において大半の時間を過ごす場所であり、ホストファミリーとお互いにとって快適な生活を送るためにコミュニケーションが大切である。どうしても我慢できないことはリーズ大学のランゲージセンターに相談できる。
- ・必ずしもホストファミリーが生粋のイギリス人になるとは限らず、アフリカ出身、南米出身の家族の可能性もある。
- ・部屋は1人部屋でプライバシーが守られていた。
- ・平日は昼食以外の食事を提供してくれた。家庭によっては、週末に親戚と集まって食事をしたりした。
- ・リーズの街は比較的安全だったが、夜出かけるのは控え、タクシーを利用した。
- ・日常生活を体験することで新たな価値観、物の見方を得る良い機会となった。



食事



1人部屋



リーズの街並み



週末

- ・週末には様々な街へ出掛けた。Whitby, Scarborough, London, York, Oxford, Cotswolds, Lake Districtなどである。
- ・ホストファミリーが連れて行ってくれることもあったが、基本的には自分で計画を立てる必要がある場合はホテルを予約した。
- ・週末ほど時間のとれる時はないのでしっかり計画を立てて有意義に過ごすべきだ。
- ・リーズ大学が催すツアーもあり、参加するのもいいかもしれない。
- ・ほかの街はそれほど安全ではないかもしれず、スリなどに細心の注意を払う必要がある。

* Whitby *

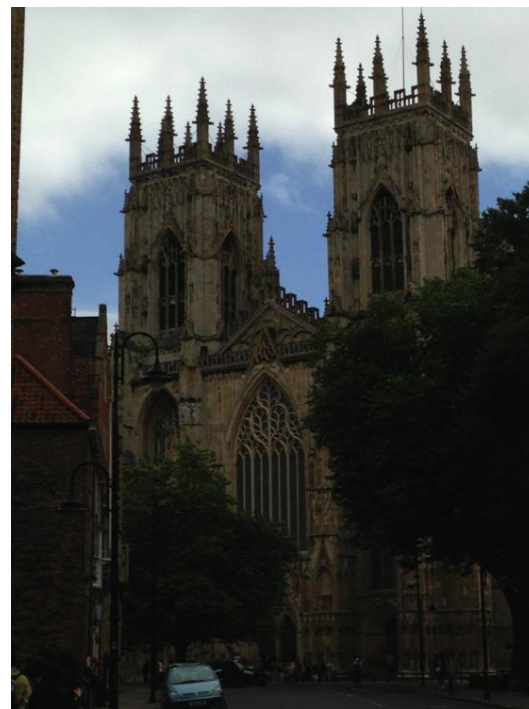
Leedsからは電車とバスで約2時間。最初の休日を利用して訪れた、北海を臨む美しい港町である。新鮮な魚を使ったFish&Chipsをいただいた。



Whitbyの景色とFish&Chips

* York *

Leedsからは電車で約30分、バスで約1時間。街の規模は小さいながら、可愛いお店がずらりと並ぶ。York Minsterは、典型的なイングランド・ゴシック様式の本堂に、15世紀に完成したステンドグラスがはめられている(中世のステンドグラス窓としては世界最大級)。また有料で塔の上部まで拝観することができ、展望台からの街の眺めは絶景である。その他には、Betty'sという有名なカフェでAfternoon Teaをいただき、National Railway Museum York(鉄道博物館)では世界中の鉄道の車両を見ることができた(日本の新幹線の0系車両も展示してあった)。



York Minster



Afternoon Tea



National Railway Museum York(鉄道博物館)

* Lake District *

Leedsからは電車で約3時間。Peter Rabbitの生誕地である。Beatrix Potterの家が湖の対岸にあり、船を使って訪れた。湖のまわりに港町が形成されているが、家のある丘の上は一転してのどかな田園風景が広がっている。



Lake Districtの風景

(5)最後に

リーズ大学での研修の様子を知って興味を持った人がいれば、行く必要がないと感じた人もいると思う。もちろん、自分で計画を立てて行くのも一つかも知れない。行くにはそれなりの費用がかかるし、大小様々な問題は必ず起きる。ただ、参加して言えることはそれほどの価値があったということだ。英語を学べることは言うまでもないが、それ以上に人間として成長させてくれたと感じる。若い内に様々な世界を知り、スキルを身に付けておくことは今後の人生を豊かにするし、留学は今ぐらいしかできないと思う。この研修では英語科の先生や国際企画化の皆様にサポートしていただいたし、金銭的にも援助していただいた。これほど信頼でき助けていただける所は他にないと思う。少しでも気になれば説明会だけでも参加することを勧める。

万全の準備で強い気持ちと明確な目的を持って研修に参加し、それがより実りのあるものになることを祈る。